



Do you like

some more

ENGLISH?



## 質問に答えます！①似たような英語表現

今回は、学塾生からの質問を紹介します。

長年、英語に接していると当たり前のように思っていることを生徒に質問され、ハッとすることがあります。その場で説明できることもあります。生徒が納得できるように、そして、わかりやすく・・・と考え、私の宿題として持ち帰ることもあります。改めて調べて、自分自身の勉強になることが多いので、質問してくれる生徒には感謝、感謝！母国語ならば、自然と身につく言葉のニュアンスというものは、なかなか説明しにくいのですが、例文などで伝えられればと思います。



### ニュアンスって何？

ニュアンスは元々フランス語ですが、言葉や表現の微妙な意味合いをいいます。言葉だけでなく色彩や音色などにも使いますね。



### 今の季節でいうと紅葉のそれぞれの色が違うみたい、そんな微妙な違いかな？

そうですね。私たちは同じような意味の言葉でも、何となくその場の雰囲気や、伝えたい内容で言葉選びをしていますよね。



## Q1 「～の種類」というときに、kind of と type ofはどう違うのですか？（中1）

言葉の好みや感覚の問題でどちらを使っても特に違いがないことがほとんどです。たとえば、

There are different types of books in this library.

There are different kinds of books in this library.

どちらも「この図書館には（いろいろな）違った本の種類があります」という意味です。

では、ニュアンスの違いはなんなのだろう？「語源辞典」を調べてみました。

- ① type はギリシャ語の typos 語源とする単語で、この語の歴史はギリシャ語→ラテン語から英単語として採用されるようになりました。元々の意味は、**刻む、打つ、刻印する**・・・など、何か「型」や「イメージ」「しるし」を作るときにたとえば石に刻むという感じのニュアンスです。
- ② kind はゲルマン系言語の語源を持ち、語源は古英語の gecynd で、歴史は、インドヨーロッパ語→プロトゲルマン語→古英語→英語ということになります。意味としては、「族」「種族」「人種」など。

ということで、私の印象では、type は「型」的な種類をいい、kind は何か一つのグループ（ファミリー）に属しているような種類をいうのではないかと思います。

■type「種類」= 特性により客観的に区別ができる種類。「型」を示す。

■kind「種類」= 1つのグループとして具体的に分類できる種類。「類（たぐ）い」を示す。

ちなみに、血液型は「型」なので blood type といい、この場合には kind は使いません。一方、人類は「類」なので、mankind と言います。

## Q2 「～がより好き」というときに prefer と like better はどう使い分けるのですか？ (中2)

better という言葉は比較の程度がより良い、という形容詞です。だから、like better は変な日本語になりますが「より良く好き」という意味です。prefer というのは2つのもの、あるいは複数の事柄、状況、いわゆる選択肢が起きる状況下で、選り好みするならば、こっちのほうがいいなあ、という動詞です。ニュアンスとしては、better はものごとのより「良さ」に強調があります。prefer は選択肢の中での選り好みセンスとしてこっちのほうがいい。



better で比較の対象をしめすのは than を使い、prefer は to を用います。  
例えば、Which do you like/prefer tea or coffee? 紅茶とコーヒーのどちらが好きですか？  
という質問に対して、

I prefer tea to coffee. 私はどちらかという紅茶が好きかなあ・・・。

I like tea better than coffee. 私はコーヒーより紅茶のほうが好きです。

like better を使って少し比較の強調を弱める表現としては、would rather like を使います。

I'd rather like tea. と答えると、ニュアンスが prefer に近くなります。

## Q3 「～間」の between A and B と from A to B はどう違いますか？ (中3)

between A and B は二つの物・時間・事象の「間」という意味合いが中心。

from A to B は、from A が出発点、to B が到着点というある方向を表す。

文法的にはどちらも使える場合でも、ニュアンスの違いが少しあります。

例) The shop is open on week days 8:00 a.m. – 4:00 p.m. その店は平日8時から4時まで開いている。

The shop is open on week days from 8:00 a.m. to 4:00 p.m.

The shop is open on week days between 8:00 a.m. and 4:00 p.m.

上の文では、お店が、8時と4時の間は開店しているという感覚、下の文では、8時に開店して4時に閉店する、という感じです。また、ほかの表現で

The shop is open on week days from 8:00 a.m. until/till 4:00 p.m.

は、4時「まで」というニュアンスが強くなります。



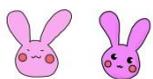
例) I work here from Monday to Friday. 私はここで月曜日から金曜日まで働いています。

I work here from Monday through Friday.

through を使うことで「通して」という意味が加わります。ここで between を使うと少し意味が違ってきます。

I work here between Monday and Friday.

となると、月曜日から金曜日の間のうちの「ある日(何日か)」働いているという意味になります。



なるほど～！言葉のニュアンスって面白いね！

気になる言葉に出会ったときは、まずは辞書で例文を見てください。  
沢山の文章と接することで言葉のセンスが身に付きます！



To be continued...